

片瀬だより

令和8年3月25日 発行
 編集・発行
 片瀬だより編集委員会
 藤沢市片瀬3丁目9番6号
 電話 29-7171
 FAX 25-8907

片瀬市民センター(本館)

おひざの上のおはなし会と
 わらべうた
 4月10日(金)・5月8日(金)
 6月12日(金)・7月10日(金)
 午前11時から正午まで

楽しく子育て《要申込》
 えのしま・かたせ子育て応援メッセ
 6月17日(水)
 午前10時から11時30分まで

パパママ、みんなに聞いてほしい
 知って安心!講座《要申込》
 5月12日(火)
 みんなで子育てお悩み相談
 6月9日(火)

片瀬福寿学校《要申込》

5月7日(木)から2027年2月4日(木)まで全13回
 午後2時から午後4時まで ※65歳以上 ※片瀬地区在住者優先



子どもの食育・食生活
 午前10時から正午まで



片瀬しおさいセンター(分館)

赤ちゃん和妈妈のふれ愛タイム《要申込》
 ~オイルトリートメント~
 6月4日(木) 午前10時から11時30分まで
 ※3か月から7か月までの乳幼児と保護者

片瀬地区防災入門講座《要申込》

5月23日(土) 午前9時30分から正午まで
 6月13日(土) 午前9時30分から正午まで
 7月4日(土) 午前9時30分から午後1時まで
 ※全3回出席できる方

楽しく子育て《要申込》
 親子であそぼ!一緒に3B体操
 5月20日(水)
 午前10時から11時30分まで

スマホお助け隊《要申込》
 4月23日(木)・5月21日(木)
 6月18日(木)
 午前9時15分から
 午後0時10分まで

ようこそ小さな空間アンソレイユ
 4月6日(月)・5月11日(月)
 6月1日(月)
 午前10時から正午まで

昼のエクササイズ
 ~今の身体に優しく
 寄り添うピラティス~
 5月19日(火)・6月16日(火)
 7月21日(火)
 午前10時から11時15分まで



夜のエクササイズ
 ~脂肪燃焼!
 ボクシングエクササイズ~
 5月13日(水)・6月10日(水)
 午後7時から8時まで

おもちゃの病院
 4月18日(土)・5月16日(土)
 6月20日(土)
 午後1時30分から3時30分まで
 ※無料(部品代は別途必要)



その他の会場

かたせ親子探検隊《要申込》※全4回出席できる方

5月9日(土) 長久保公園で家庭菜園に挑戦! 午後1時30分から4時まで	会場:長久保公園
5月30日(土) 江の島の磯探検! 午前9時から午後0時30分まで	会場:江の島
6月20日(土) 春の川名清水谷戸探検! 午前9時30分から午後3時30分まで	会場:川名清水谷戸
7月11日(土) ロボテラスで未来を体験! 午前10時から11時30分まで	会場:ロボテラス

片瀬山おでかけ講座《要申込》※片瀬山地区在住者優先

5月30日(土) 健康講座 午前10時から正午まで 会場:片瀬中学校格技室

生涯学習事業のお知らせ

申込み、詳細は広報・地域回覧・ホームページ等をご確認ください。



片瀬市民センターHP

藤沢の漁業

私たちの生活の中で、毎日のように食卓に上る魚介類ですが、それらが何処でどの様に育ち、或いは獲られているかは、意外と知られていません。片瀬地区の地場産業である漁業をより身近なものに感じて頂くと同時に、魅力ある生業であることを知って頂くため、藤沢の漁業の現状等について、江の島片瀬漁業協同組合代表理事組合長の北村治之氏が、藤沢市生涯学習大学の講座で語られた内容を要約したものを、本号から3回に分けて掲載いたします。

講師の北村氏は、遊漁船(釣り船)の船主を務めながら、組合長として地域漁業を牽引しています。また、NPO法人「江の島フィッシャーマンズプロジェクト」を立ち上げ、海洋保全や釣り体験を通じた普及活動にも力を注いでいます。

藤沢の漁業①

海の拠点「片瀬漁港」と漁師の役割

藤沢の海の幸を支える拠点「片瀬漁港」をご存知でしょうか。小田急片瀬江ノ島駅から徒歩3分という、全国的にも珍しい駅近の漁港です。2008年に開港したこの港は、かつて砂浜だった場所に作られた比較的新しい施設で、現在は「江の島片瀬漁協」と、合併により「湘南漁協」の支所となった旧「藤沢市漁協」の2つの組合が利用しています。

漁港は単に船を停泊させるだけでなく、鮮度を保つための製氷施設や魚を選別する荷捌き所、船のメンテナンスを行うスロープなど、漁師の活動を支える心臓部です。また、海から流れてくる窒素やリンを循環させる環境補完

機能や、水質の浄化、生態系の保全といった多面的な役割も担っています。さらに、災害時には陸路が遮断された際の緊急輸送拠点となり、海難事故の際には漁師が救助に出動するなど、私たちの暮らしの安全を守る場所でもあります。

漁港にある芝生広場は市民の憩いの場としても開放されており伝統漁法を次世代へ伝える場でもあります。まずは身近な港の役割を知ることから、私たちのまちの海への理解を深めてみませんか。



江の島・片瀬の観光を支える

平成6年には藤沢市への観光客数が2,000万人を超えました。(藤沢市ホームページより)

全国的にも良く知られた観光地である江の島・片瀬地区には、連日国内外から多くの観光客が訪れています。その様子は長年この地に住んでいる皆さまにとっても驚きの光景なのではないでしょうか。今回は藤沢市観光協会を訪ね、日頃の活動やインバウンド(外国人観光客)対策などを取材しました。

海外からの観光客の中心は東アジア圏です。江の島・片瀬を舞台にしたアニメ放映の

影響が大きいようです。ほとんどが鎌倉・江の島をセットで訪れているとのことで、島内外の観光案内所や駅などには数か国語の案内パンフレットが置かれています。一か月で一万枚近くが利用されていると聞き驚きました。また、藤沢市及び(公)藤沢市観光協会ではFUJISAWA Foodies(藤沢フーズ)というウェブサイトを開設し、市内の飲食店や土産物店が自分のお店のメニューを簡単に多言語で作成できる支援をしています。

また、台湾と長年にわたり交流を続けており、今年は高雄市内の小学生500人以上が台湾ラントンにさまざまな絵を描き、「湘南の宝石2025-2026」の開催中には江の島東町エリアに飾られました。

異なる文化を持つ国からの観光客との間に、時にはコミュニケーションが上手く取れないことも起こります。そのような時は相談にのることもあるそうです。

さらに観光協会では江の島・片瀬地区の魅力を広く伝えるためにかかせないアニメや映画、テレビ等の撮影の際には、現地と製作者との間で調整役も務めるとのことです。

観光地、江の島・片瀬を支える工夫と努力が、賑わいの途切れない今を作っているのだなと感じました。



多言語で作成された観光パンフレット

片瀬・江の島イチョシ浮世絵②

元藤沢市藤澤浮世絵館 学芸員 細井守

歌川国芳「山海名産尽 相模ノ堅魚（さんかいめいさんづくし さがみのかつお）」

（制作年：文政末頃）

この作品には、江戸時代の片瀬・江の島を知るうえで、多くの情報が盛り込まれています。描かれているのは背景から、富士山とその脇にぽっかりと浮かぶ太陽。その手前には江の島と岸に向かってオビがたなびくような砂洲。さらにうねる波の手前の砂浜に着いた船の周りでは漁師たちが竿釣りで魚を釣り上げています。砂浜の右手では牛に横ずわりの女性が手差し出しています。

この絵のシリーズは各地の名産品を国（地域）ごとに描いたもので、相模（現在の神奈川県の大分）の名産品としてカツオが選ばれています。俳人松尾芭蕉（まつおばしろう）の句に「鎌倉を生きて出（いで）けむ初鰹（はつがつつお）」とあるように、



「山海名産尽 相模ノ堅魚」電子博物館みゆネットふじさわ提供

鎌倉沖（江の島沖）は江戸時代から「初鰹」の有名な産地で、春（三月～五月）には黒潮に乗って北上するカツオが獲れ、江戸へ運ばれて人々に珍重されました。

図の女性は観光客。砂浜は歩きにくいので牛に乗って遊覧しました。牛の脇で杖を持っているのが牛を曳く牧童（ぼくどう）です。

江戸時代の観光では、客は芝居や演芸と同じように、牛を扱う人への謝礼や感謝の気持ちとして、金銭を「投げる」形で支払う「投げ銭」の文化がありました。女性の後ろに笠と風呂敷包みが覗いていて、お付きの人がいるようです。

私の散歩道～富士見坂

片瀬山地区の西側斜面に『富士見坂』があります。片瀬中学校の裏門から南に少し上がって下るあたりから石畳の下り坂が続く、西側に広大な景観が臨める散歩道です。

この坂からは、富士山や大きく広がる相模湾とそこに浮かぶ鳥帽子岩、対岸の小田原や熱海を臨むことができ、空気の澄んだ日には遠く丹沢山系も遠望できます。また、春には桜、夏には海岸の花火など季節に応じて楽しませてくれる散歩道です。今年の桜もキレイでしょう。楽しみです。（I）



江ノ電新型車両導入

写真は江ノ電の新型車両700形です。新型車両の導入は20年ぶりで、春から運行予定とのこと。楽しみです！



ふるさと片瀬

今昔あれこれ ⑤1

中村 喬

「片瀬川の鳥たち」

春、片瀬山から木の枝をくわえてアオサギが山本公園の松林に戻ってくる。羽を広げて片瀬の空を飛ぶ姿が美しい。子育てのための巣作りなのだろう。散歩の目を楽しませてくれる。アオサギは一年を通してその姿を見ることができ、人の暮らしに慣れて山本橋を歩いて渡る一羽に出会ったこともある。西浜の突堤では釣り人の魚を求めてか、近寄ってじっと立ち尽くしていることもある。

川面に目を転じると、カワウが水をたたいて飛び立とうとしている。岸边には、羽を左右に開いて日に当たっている一羽もいる。突然水中にもぐるものも見かける。餌をとっては予想もしなかった場所に浮かび上がったります。

秋から冬にかけての川をにぎやかにしてくれるのはカモの仲間だ。えさを食べるのだろうか、ときに逆立ちになって首を水中に突っ込む姿が面白い。

冬鳥のカモたちが去った川岸にここ数年取り残されたように立っている一羽のカモが気になっていいる。黒い羽根の一部が白く、顔の部分に赤い色が混じっている。道行く

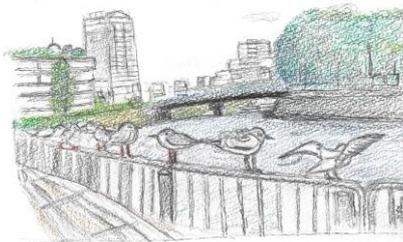
人に尋ねるとバリケンだと教えられた。もともとは南米に生息するカモの仲間だと知った。この頃見かけないが、元気なのだろうか。

冬が近づくとカモメが北から渡ってくる。群れを成して空を飛び、一斉に川面に降りたりして散歩の目を楽しませてくれる。川辺の道を尾羽を上下に振りながら歩くハクセキレイも散歩の友だ。

ハトもまた、散歩する人を恐れず地上を歩き回っている。ハトと言えば、キジバトの鳴き声が耳に入ってくる、デデポツポツと聞こえるといわれているが、戦中生まれの私にはどうしてもクーシューケーホーと聞こえてしまう。

片瀬川の鳥たちが住民の目を楽しませてくれる平和な日常が続くことを願いながら、今日も川岸を歩く。

【産土に山と川あり春の鴨】



片瀬川のユリガモ 道子

片瀬市民図書館からのご案内

電話 28-6935

市内に在住、在勤、在学の方ならどなたでも、一人10冊まで2週間借りられます。

〔開室時間〕

火、日曜日

午前10時～午後5時

《新着本のお知らせ》

「武家女人記」

砂原 浩太朗

「アンソロジー極彩色の後宮」

白川 紺子 他

「神奈川名建築案内」

山内 貴範

「ブーズたち鳥たちわたしたち」

江國 香織

「うらぎり長屋」

高瀬 乃一

「太閤記解剖図鑑」

柴 裕之

「かいけつゾロリ にせゾロリ」

あらわる!!

原 ゆたか

「食べる養生スープ」

たかせ さと美

「マカン・マラン」

二十三時の夜食カフェ

古内 一絵

「シークレット・オブ」

シークレッツ 上下

ダン・ブラウン

片瀬市民センターからのお知らせ

片瀬・江の島まちづくり協議会がラインで回覧板を見ることが出来る「片瀬地区 KEIJI BAN」を開設しました。

★こんな方におすすぬ!

- ・回覧板が手元に届かないことがある。
- ・忙しくて回覧板を読む時間がない。
- ・最新の地域情報をいつでも確認したい。

「片瀬地区 KEIJI BAN」は、ラインの公式アカウントを使って、地域の回覧板情報をお届けしています。

一度登録すれば、紙の回覧板が手元に届かなくても、スマホでいつでも情報を見ることが出来ます。「あれ、あの案内どこに行ったかな?」という時も、スマホで簡単に確認できます。

二次元コードを読み取って、ラインで「友だち追加」するだけ!

安心で、ちよつと便利な新しい回覧板。よろしければ、ぜひご活用ください。



編集後記

年明け早々に東京は初雪だった。それが予兆か。雪国は稀に見る大雪が続いた。熊から雪だと言われた。

そして陽光を迎えた今も、世界は混迷を深め、涙と悲哀と不安を静かに蓄積しているようだ。

新屋敷橋の山桜は咲いただろうか。海岸から賑やかな声が聞こえてくるだろうか。もうすぐ春です。(〇)